

(1) - 2) 自然保護活動からのエコツーリズムや環境教育の展開

-大崎市・蕪栗沼の水鳥-

自然保護・自然公園等として保全され、主に水辺の野生生物（白鳥、ガン、カモ、トンボ、ホタル等）の生息・飛来地等として認知度が向上して地域ブランド化された事例。観光産業、エコツーリズム、環境教育などがおこなわれることで経済効果が生まれ、派生的に商品等のブランド化に寄与している。宮城県大崎市における蕪栗沼の事例を紹介する。

①野生生物着目の動機・背景

宮城県大崎市蕪栗沼では、環境と治水の調和を目指して、狩猟自粛と水田だった白鳥地区が沼に戻されたことでマガンをはじめとする渡り鳥・水鳥の越冬数が大幅に増え、国内最大級の飛来地として知られるようになった。さらに周囲の水田において冬期湛水田（ふゆみず田んぼ）の取組が行われるとともに、沼と水田が一体的にラムサール登録されるなど湿地生物保全上大きな進展が見られるようになっていく。

かつて氾濫を繰り返してきた北上川水系の自然遊水池だった蕪栗沼は、陸地化が進む中で洪水調節機能を取り戻すため全面浚渫事業が計画された。しかし環境保護を求める声や1997年の河川法の改正を契機として、行政、有識者、民間関係者からなる「蕪栗沼遊水池懇談会」が形成。環境保全と洪水調節機能の両立を目指した蕪栗沼環境管理基本計画が策定された。この計画に沿って、沼に隣接する50haの干拓地・水田を湿地に戻すと共に、行政からNPOまで含む実行組織「蕪栗沼環境管理会」が越流堤の整備や植生の管理などを行っている。

渡り鳥は農家にとって害鳥であるという側面もあり、保全活動と農業の間には当初は溝があったとされる。しかし、取組にかかわってきたNPO法人蕪栗ぬまっこくらぶをはじめとした地道な環境教育活動の積み重ねによる普及啓発活動の結果、渡り鳥が飛来する豊かな自然を地元農産物の付加価値とできることや、水鳥により水田の除草や施肥効果が期待できるなど営農面のメリットが理解され、地元農業者との合意形成が進むようになった。こうして沼環境や水鳥の保全と農業をはじめとする地域活性化が両立する事業が展開するようになった。

②野生生物の状況

蕪栗沼に多く飛来する渡り鳥・水鳥の一つマガンは、ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の北極圏で繁殖し、冬季は両大陸南部に渡って過ごすことが知られている。

全長65～86cm。翼開長135～165cmほどの大型の水鳥で、体が黒っぽい茶色をしている。日本には冬鳥として渡来し、湖、沼や池をねぐらにし、水田で落穂や、草の種子、葉などを餌としている。宮城の県鳥となっており日本に渡ってくるうちの70%が、県内の伊豆沼・内沼の周辺で越冬している。この周辺はハクチョウやガンカモ類の一大越冬地としても有名である。夜が明けると、数千羽ものガンがいつせいはばたいて、群れになって飛ぶときにつくる隊列「雁行（がんこう）」は、冬の風物詩にもなっている。

2010年には15万羽のマガンが確認されたほか、オオヒシクイも過去最高数を記録しており、増加傾向にある。コウノトリも大陸からだけでなく、兵庫県豊岡市の放鳥個体が飛来している。また、タンチョウも34年ぶりに飛来するなど、確実に生物多様性や飛来数を増加させていると言える。しかし近年では、

水鳥が蕪栗沼に集中し過ぎて餌場の不足や病気の懸念が生まれており、他の湿地や「ふゆみずたんぼ」を保全整備することで、離れた別の水辺環境に誘導することが課題の一つとなっている。



写真：秋の夕暮れ時、ねぐらに戻ってくる渡り鳥たち（宮城県大崎市蕪栗沼）

③保全活動の状況

渡り鳥飛来数や周辺動植物の継続的なモニタリング調査を行うとともに、環境教育を通じて、地元への関心や理解を高める活動を続けている。また、周辺遊水地施設の管理や湿地の復元にも取り組んでいる。2005年、蕪栗沼と周辺水田を一体的に指定してラムサール条約に登録したことを契機に、農業分野においても渡り鳥と共生する農法が目指されており、農薬をなるべく使わない農法や冬期湛水田等の取り組みが盛んにおこなわれている。一方渡り鳥による食害に対しては「渡り鳥による食害補償条例」を制定するなど、行政との連携による対策も講じてられている。



写真：沼保全のために刈り取ったヨシを利用して水鳥の観察小屋をつくるボランティアたち
(宮城県大崎市蕪栗沼)

④利活用の方法

冬季湛水田に取り組む周辺の米を「ふゆみずたんぼ米」として販売している。現在生きもの認証マークなど生きものをブランドにした農作物の研究を続けている。また、地元のグリーンツーリズム活動に渡

り鳥観察プログラムを位置づけるなど観光事業にも結び付けている。さらに、湿地保全活動で発生するヨシの残さによるヨシペレット等のバイオマス利用も試みられている。



写真：ふゆみずたんぼ米（蕪栗沼ふゆみずたんぼプロジェクトホームページより）